

クリーン手洗器G II

自動洗浄乾燥手洗器

TE161MSX

TOTO

取扱説明書

■このたびは、TOTOクリーン手洗器G IIをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

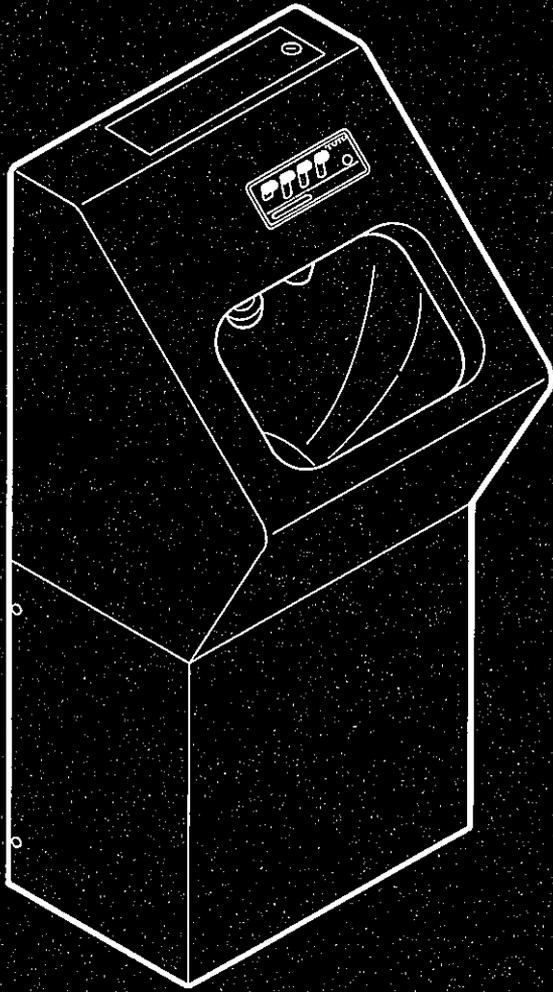
■この取扱説明書は、大切に保存しておいてください。

施工される方へ

この取扱説明書をよく読んで施工してください。

なお、施工完了後必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

説明書は大切にお取扱いください。



も く じ

ご使用上の注意 1

特長 3

仕様 4

各部の名称 5

寸法図 6

ご使用編

ご使用方法 7

施工編

施工をされる前に 10

施工要領 12

Ⓐ施工組立図 12

Ⓑ施工要領 13

取付後の点検 17

メンテナンス編

水石けんの補給 19

水勢の調節及びストレーナの清掃 21

自動運転タイマーの調節と温水スイッチ 22

故障・異常の見分け方と処置方法 23

安全のために必ずお守りください

作業を誤った場合に危害・損害の程度をつぎの2つに区分しています。
いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。



この作業を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



この作業を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

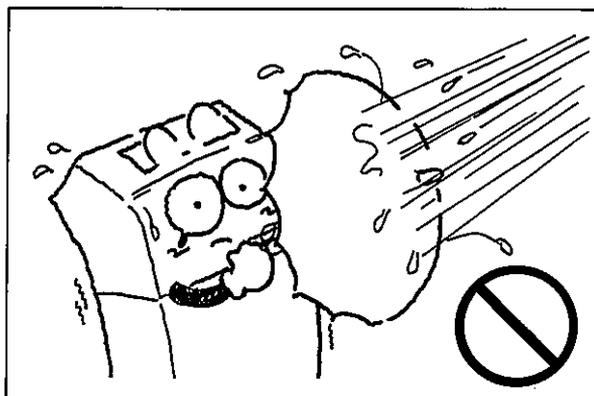
絵表示については、つぎのような意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		必ず行う

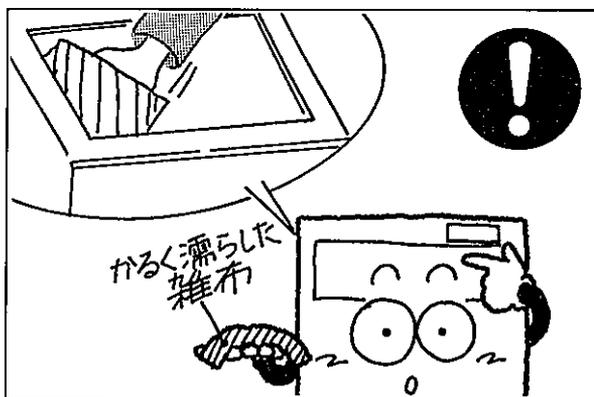
ご使用上の注意

⚠ 警告

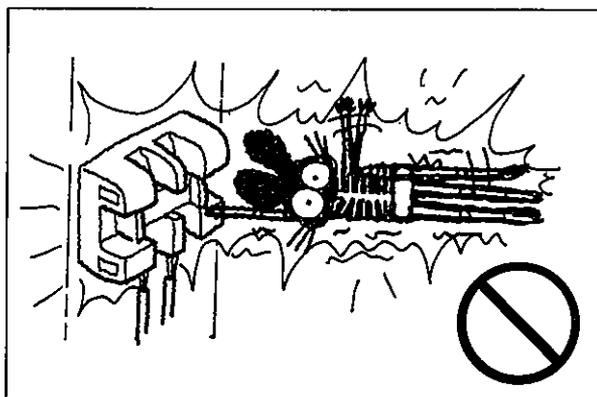
- 電気製品ですので水をかけないでください。感電・故障の原因になります。



- 手洗器ボールの掃除は、ケーシングと手洗器ボールの隙間より器具の内部に入らないように、かるく濡らした雑布で拭いてください。水が器具内部に入ると、感電・故障の原因になります。

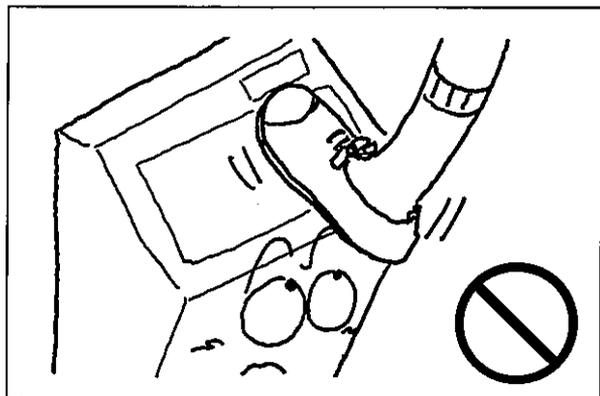


- 通電しているときは絶対に端子台に手を触れないでください。感電する恐れがあります。



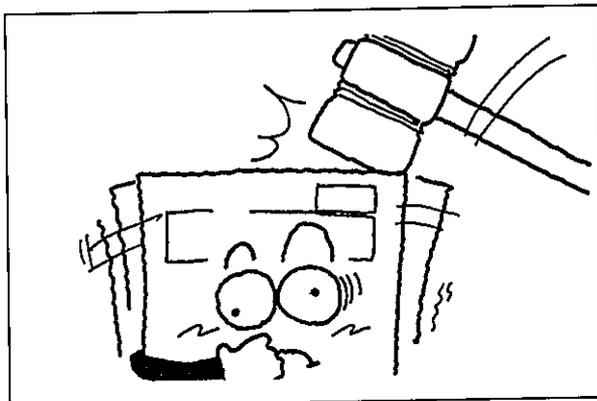
⚠ 注意

- 器具に乗ったり踏み台として使用したりしないでください。ケガの原因になります。

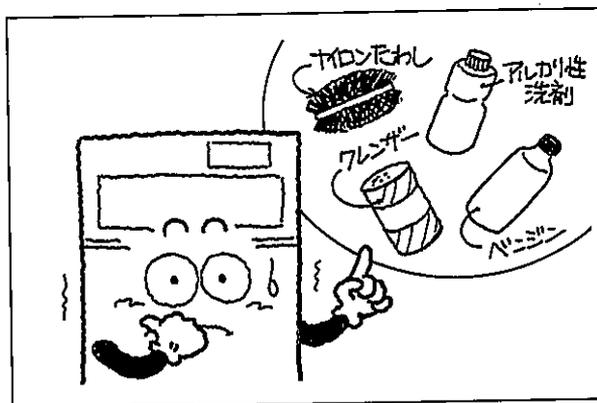


お願い

- 器具に強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。



- 光電センサー表面は傷つけないよう十分注意してください。なお、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤・シンナー・ベンジン・酸性やアルカリ性の洗剤及びナイロンたわしなどは、器具表面を傷つけたり侵したりしますので使用しないでください。



特 長

■全自動。だからタッチ不要！

手洗いから乾燥。何から何まで全自動。センサーの働きで「触れる」行為をなくしました。

■タオルが不要

自動洗浄・自動乾燥機能を備えた「タオルレスシステム」です。乾燥用エアはケーシングと手洗器のすきまより回収し、飛び出しをできるだけ少なくしています。

■水が飛び散らない！

TOTOクリーン手洗器は、ボール形状を工夫すると共に手洗器のボール面に常に水を流すことにより、水はねをほとんどなくしました。

■いつも快適温水による手洗い！

温水タンクを内蔵し、いつでも心地よい温水で手を洗うことができます。温水は飛びはねを十分考慮したシャワー吐水です。

■水石けん吐水でさらに清潔に！

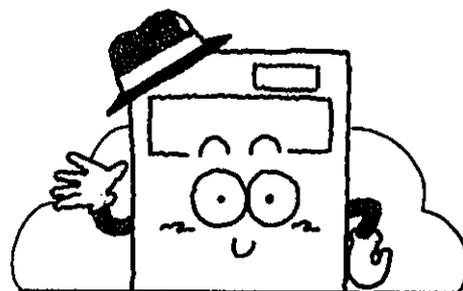
適量の水石けんが自動吐出しますので、さらに手を清潔にすることができます。豊富な種類の石けん液が使用可能です。好みに合わせてご使用ください。

■コンパクトでファッションナブルなスタイル

手洗器・温水吐水装置・乾燥装置・水石けん吐水装置などを徹底的にコンパクトにまとめました。手洗器とケーシングの色はソフトブルーとパステルアイボリーのツートーンで、とてもファッションナブルです。

■自動ドアとの連動端子台を搭載

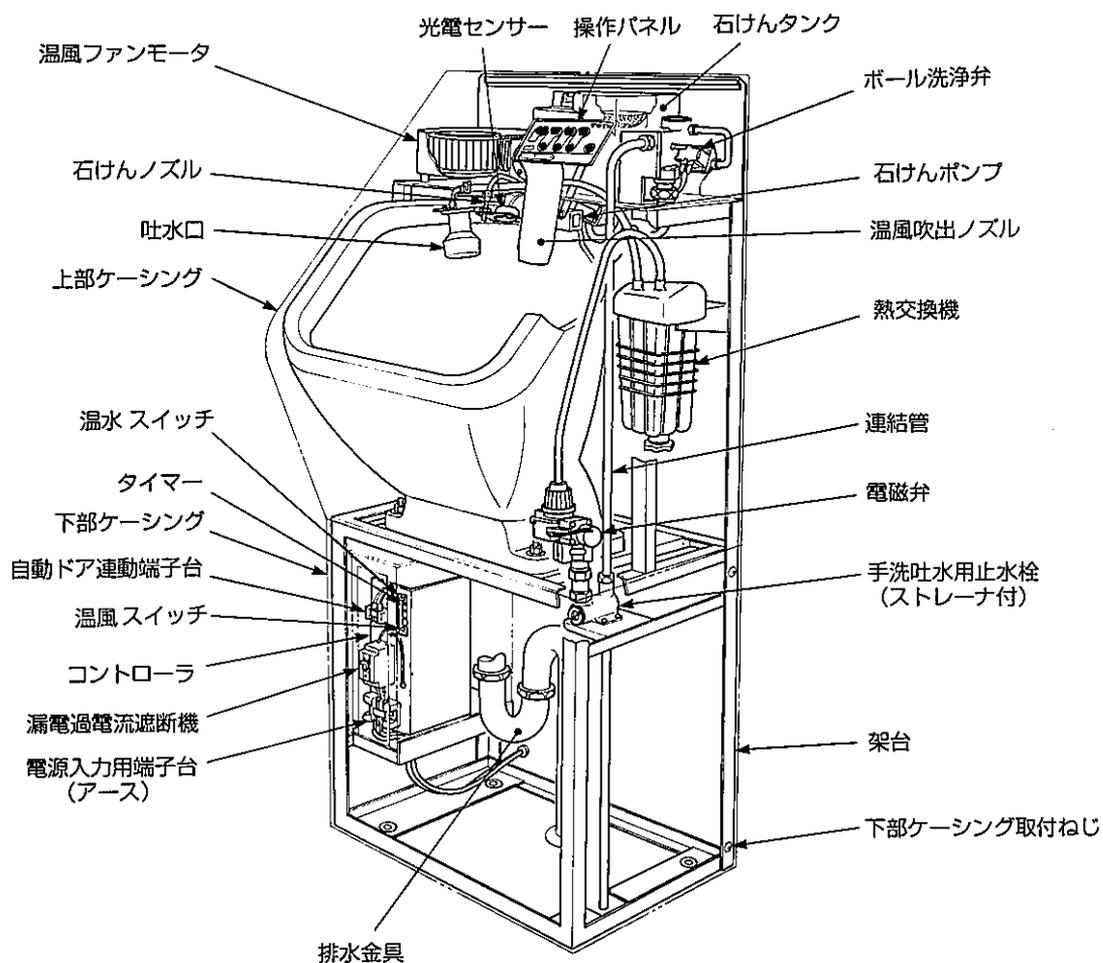
手を洗わないと自動ドアが開かないようなシーケンスを組むことのできる自動ドア用連動端子台を搭載しました。



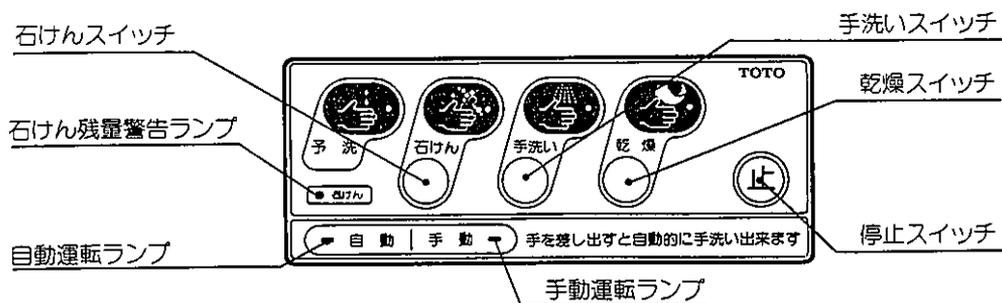
仕 様

品名及び品番		クリーン手洗器GII (TE161MSX)
外 寸		幅550×奥行485×高さ1225
ケース本体及び手洗器		ケース本体…鋼板塗装 (色:パステルアイボリー) 手洗器…陶器製 (色:ソフトブルー)
重 量		約65kg
電 源 電 圧		AC100V±10V 50/60Hz共用
定格消費電力	常 時	10W以下
	作 動 時	2662W (50/60Hz)
過 電 流 遮 断 性 能		定格作動電流30A
漏 電 遮 断 性 能		定格感度電流15mA0.1秒以内
給 水 圧 力		最低必要水圧0.07MPa (流動時) 最高水圧0.7MPa
瞬 間 流 量		約21L/min (手洗流量4L/min, ボール洗浄水量17L/min)
1 回 当 り の 吐 水 量		約8L/回
給 水 接 続		15A (R1/2)
排 水 接 続		φ38黄銅管 (床, 壁排水両方向とも可)
使 用 温 度 範 囲		5~35℃
作 動 モ ー ド		自動・手動モードの選定可能
温 水 機 能	温 水 温 度	約38℃ (但し温水沸き上がり後吐水)
	ヒ ー タ 容 量	1100W (シーズヒータ)
	温 水 タ ン ク 容 量	約1.6L
	安 全 装 置	バイメタルスイッチ52℃OFF/温度ヒューズ70℃OFF
乾 燥 機 能	温 風 温 度	約60℃
	風 量	約2.4m ³ /min
	風 速	約28m/s
	ヒ ー タ 容 量	1500W (ニクロムヒータ)
	フ ァ ン モ ー タ	消費電力62W
	安 全 装 置	バイメタルスイッチ75℃OFF (2個) /温度ヒューズ216℃OFF (2個)
水石けん吐出機能	吐 出 量	約3mL/回
	タ ン ク 容 量	約1.5L 残量警告ランプ付 (残量約0.4Lにて点灯)
	吐 出 方 式	電磁ポンプ7W
ボ ー ル 洗 浄 方 式		フラッシュバルブ方式
自動モード設定	① 予 洗	約1.5秒 (0秒, 1.5秒, 3秒, 6秒可変)
	② 水石けん吐出	約1.4秒 (0~5秒可変)
	③ 休 止	約6秒 (6秒, 10秒, 15秒, 20秒可変)
	④ 手 洗	約10秒 (6~85秒可変)
	⑤ 休 止	約1.5秒
	⑥ 乾 燥	約40秒 (10~120秒可変)
付 属 品		<ul style="list-style-type: none"> ●メンテナンスふた用カギ ●開閉工具 ●タイマー調節用ドライバー ●水石けん吐出口クリーニングピン

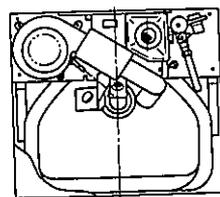
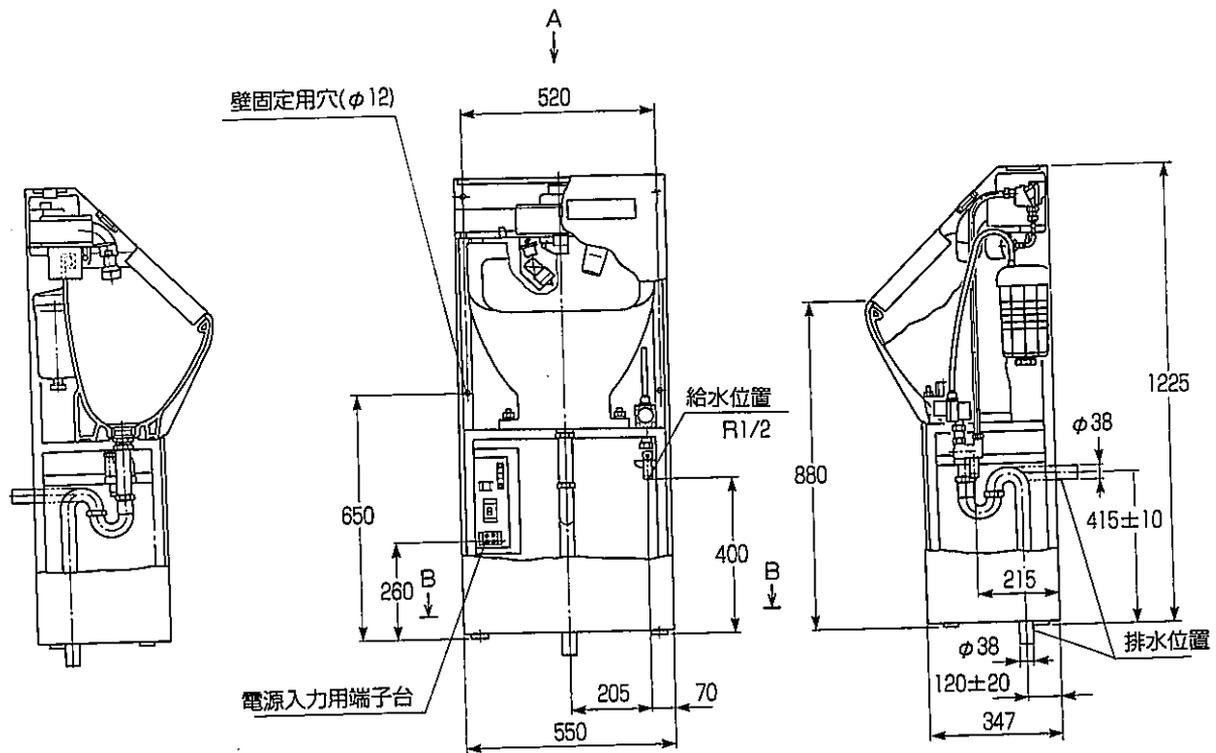
各部の名称



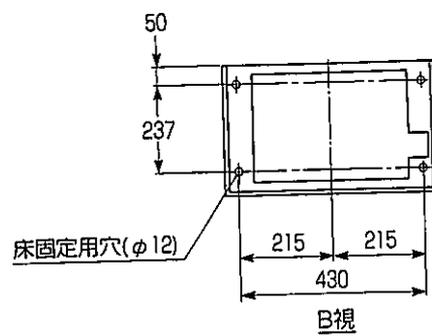
■操作パネル



寸法図



A視



B視

ご使用方法

この手洗器は通常自動運転しますが、手動運転に切替えて水石けん吐出時間（水石けん吐出機能付の場合）、および手洗時間や乾燥時間を任意に使用することができます。

自動運転の場合（自動運転ランプが点灯）

■予洗

- 手洗器内に手を差し出すと、自動的に予洗吐水を始めて手を濡らします。同時に手洗器ボール内にも水が流れ、ボール洗浄を行い、ウォーターカーテンを作ります。
- 手洗吐水時間は約1.5秒間です。

■水石けん吐出

- 手洗吐水が停止すると、自動的に水石けんが吐出されます。
- 水石けん吐出時間は約1.4秒です。

極端に手が汚れている場合などで1.4秒以上の水石けん吐出が必要な場合には、石けんスイッチを押してご使用ください。手動運転に切替わります。

■手洗い

- 水石けん吐出停止後、約6秒間経過すると、自動的に手洗い吐水を始めます。
- 手洗い吐水時間は約10秒間です。

手洗吐水時間内に手をきれいに洗うことができない場合には、手洗いスイッチを押してご使用ください。

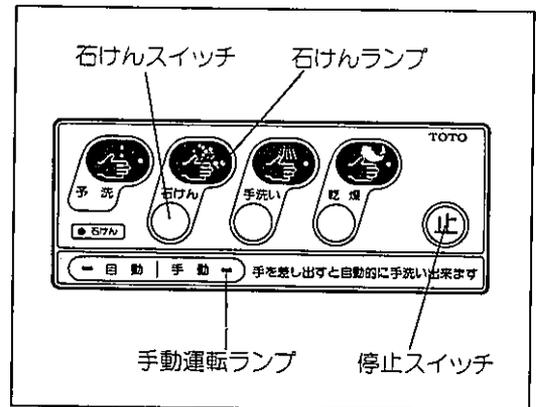
■乾燥

- 手洗吐水が停止してから約1.5秒後に自動的に温風が出てきます。
- 温風は約40秒間吹き出します。乾燥の際、手をもみ合わせると早く乾きます。

手動運転の場合（手動運転ランプが点灯）

■水石けん吐出

- 石けんスイッチを押すと石けんランプが点灯し、スイッチを押し続けている間水石けんが吐出されます。
- 水石けん吐出は2～30秒間の範囲で石けんスイッチを離す、またはⓄスイッチを押すことにより任意に止めることができます。
- 水石けん吐出停止後5秒間にセンサーが感知すれば、それ以降は自動モードの手洗い乾燥動作を行い、手を乾かすことができます。
- 水石けん吐出はいたずら防止のため、石けんスイッチを押し続けても30秒で停止します。

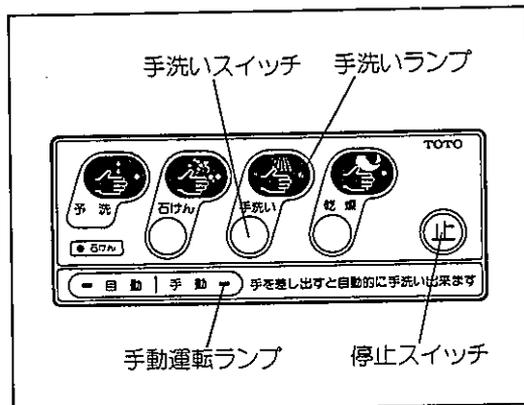


■手洗い（予洗いとしても使用できます）

- 手洗いスイッチを押すと、手洗いランプが点灯し手洗吐水を始めます。
- 手洗吐水時間は0～3分間の範囲でⓄスイッチを押すことにより止めることができます。但し5秒以上センサーの感知が切れると停止します。
- 手洗吐水停止より1.5秒間以上でかつ3秒間以内にセンサーが感知すれば、それ以降は自動モードの乾燥動作を行い、手を乾かすことができます。

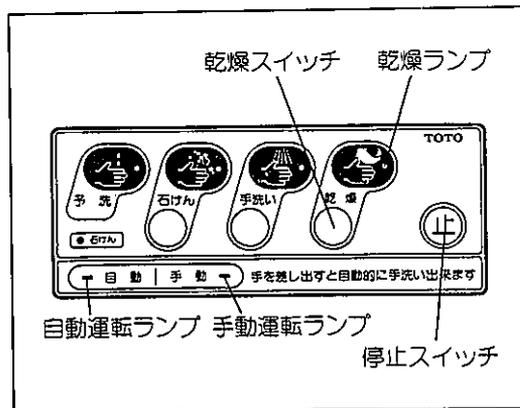
乾燥時間内に手が乾かない場合には、乾燥スイッチを押してご使用ください。手動運転に切替わります。

- 手洗吐水は3分間継続して使用された場合、吐水を停止し自動モードに復帰します。
- 手洗吐水中に④以外のスイッチを操作した場合には、そのスイッチによる作動に変わります。



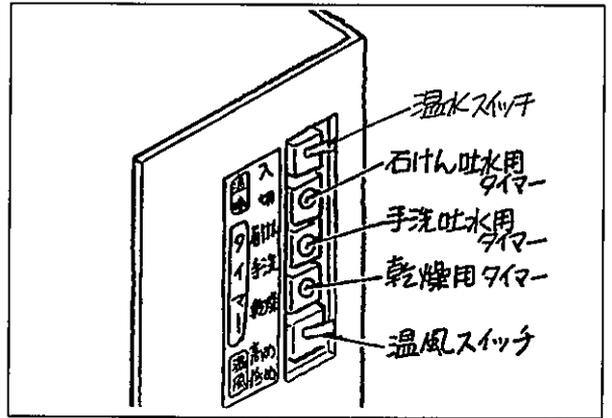
■乾燥

- 乾燥スイッチを押すと乾燥ランプが点灯し温風が出てきます。
- 乾燥時間は0～3分間の範囲で④スイッチを押すことにより任意に止めることができます。但し5秒以上センサーの感知が切れると停止します。乾燥の際、手をもみ合わせると早く乾きます。
- 乾燥時間は3分間継続して使用された場合、乾燥を停止し自動モードに復帰します。
- 乾燥中に④以外のスイッチを操作した場合には、そのスイッチによる作動に変わります。

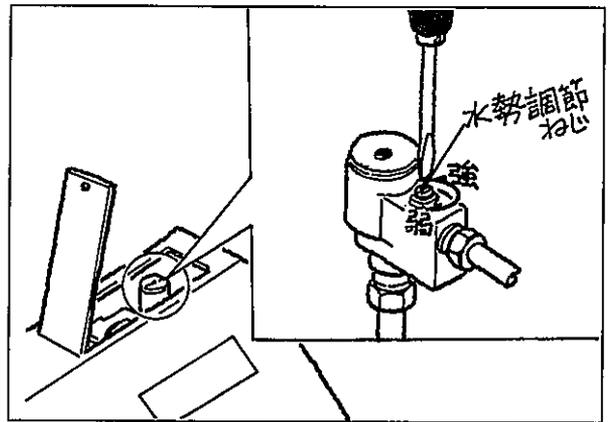


- 乾燥後は停止スイッチを押してください。温風は停止し、自動運転に切替わります。

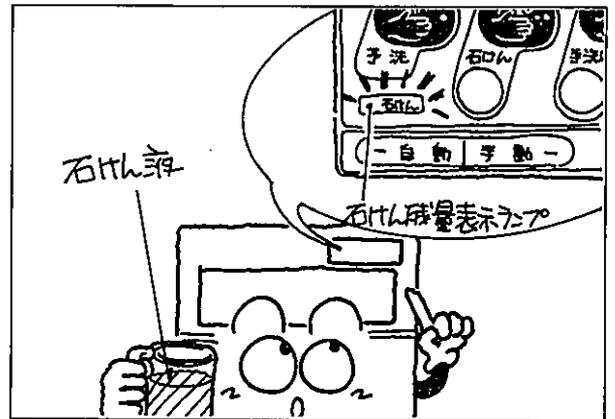
- 自動運転時の水石けん吐出・手洗吐水及び乾燥の設定時間は変更することができます。また、温水スイッチの操作で温水ヒーターのみ「切」にすることができます。乾燥機能も、温風スイッチの操作でお好みに合わせて温風温度「高め」「低め」の選択ができます。変更方法は22ページに記載しています。



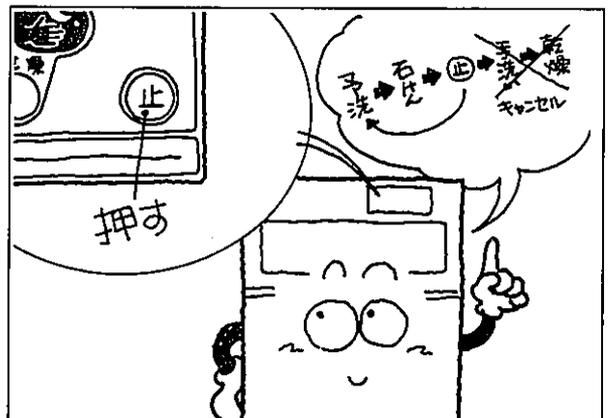
- 手洗器ボール面の洗浄水勢の調節ができます。調節方法は21ページに記載しています。



- 操作パネルの石けん残量警告ランプが点灯したら、石けん液を補給してください。補給方法は19ページに記載しています。



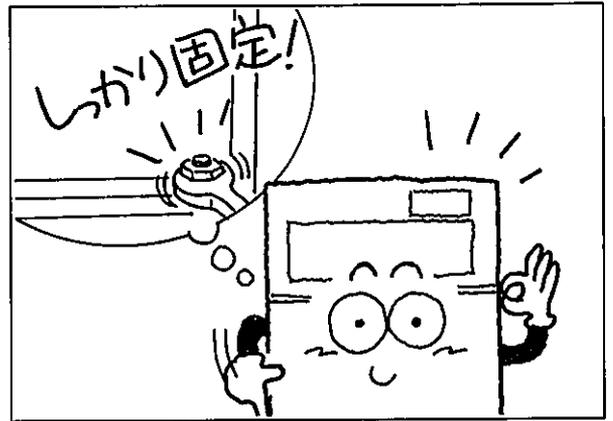
- 自動運転中に⓪スイッチを押すと、それ以降の作動をキャンセルし使用前の状態に戻ります。



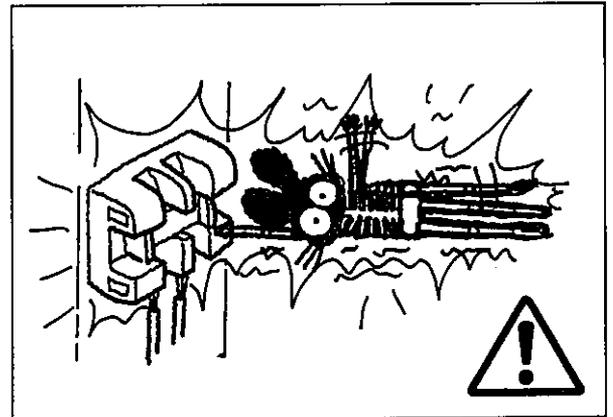
施工をされる前に

■施工に当たっては、次の項目に注意してください。

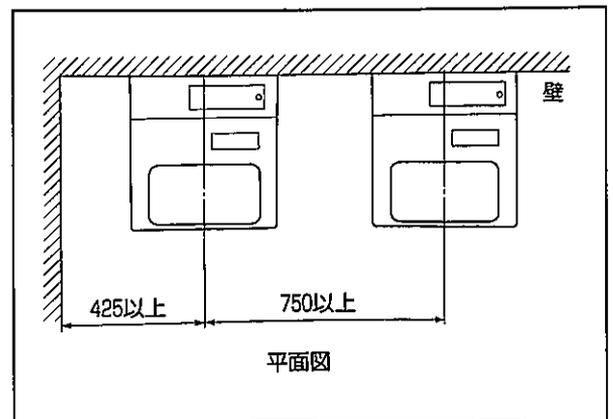
- 電気工事については工事士の資格者を保有する工事店様に依頼し、電気設備の技術基準にもとづいた工事を行ってください。
- 電源電圧はAC100V、定格消費電力は2662Wです。必ずこれに適した電気工事を行ってください。
- 電源の引き込みは消費電力に見合った専用の回線を使用して行ってください。
- アース端子が付いていますので、必ずD種接地工事を行ってください。
- 電気器具ですので電気部品や機能部には絶対に水をかけないでください。
- 器具が転倒しないよう、器具の固定用穴を利用してボルト等で床及び壁に強固に固定してください。



- 通電中は端子台に手を触れないでください。

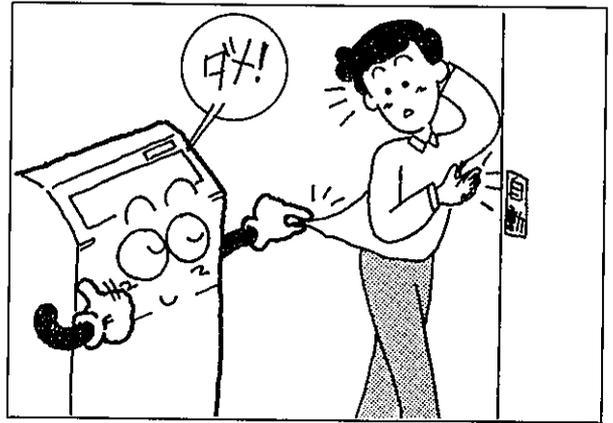


- 施工及びメンテナンスのために、次のスペースを確保してください。



■自動ドアと連動させる場合

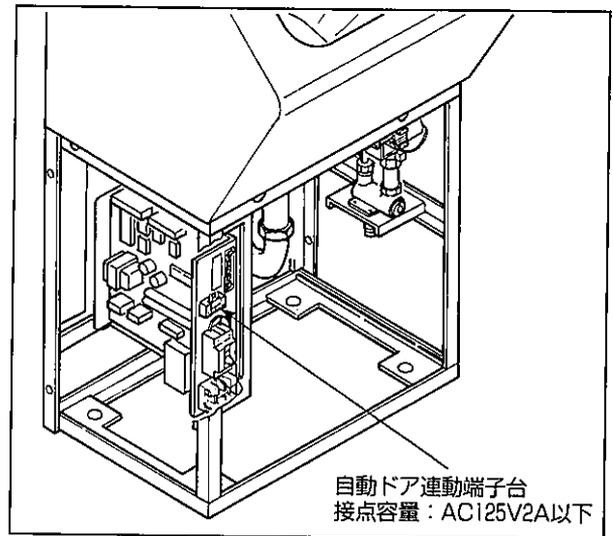
- クリーン手洗器を使用しないと自動ドアが開かないようなシーケンス回路を組むことができるように、自動ドアとの連動端子台を設けました。下記の要領で、自動ドア側でシーケンス回路を製作してください。



●自動ドア用連動端子への接続要領

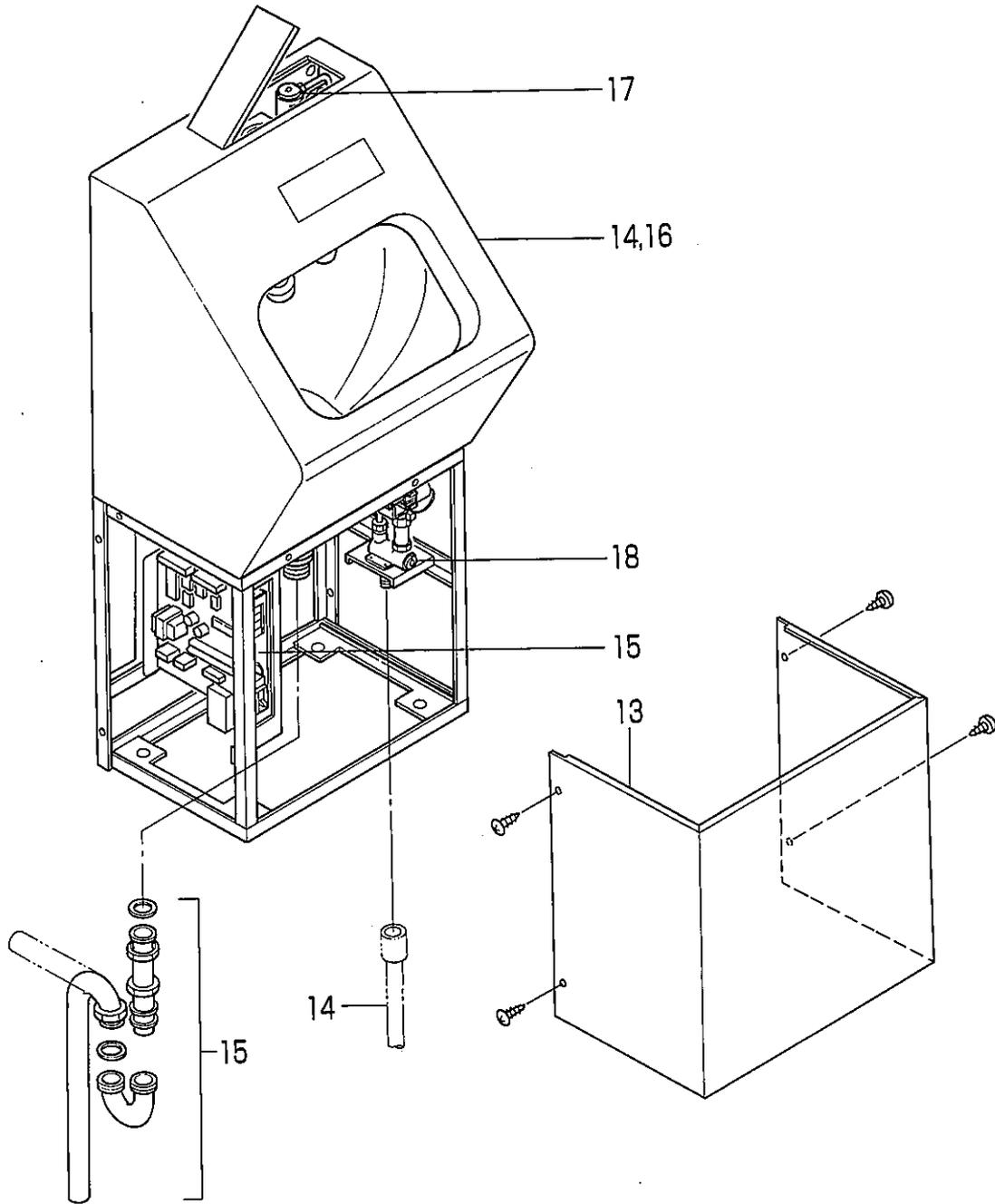
乾燥用ファンモータが回っている間は自動ドア用連動端子台に接続されたリレー接点が閉じます。この端子の接点を入力として自動ドア開閉用のシーケンス回路を組んでください。

⊗端子台への接続負荷は必ず2A以下にしてください。2A以上の負荷を接続しますと、故障しますのでご注意ください。



施工要領

① 施工組立図



※イラストの数字は参照ページを示しています。

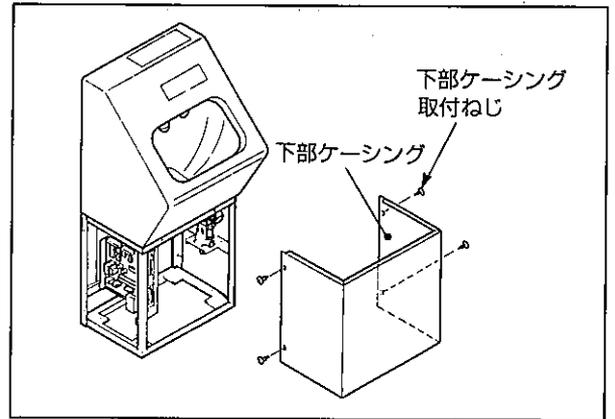
⑧ 施工要領

- (1) 6ページの寸法図の給・排水位置に給・排水の配管工事を行ってください。
- (2) 手洗器本体を設置ポイントに運び、壁面にぴったりとなるように置いてください。
- (3) 下部ケーシングを取外してください。

● 下部ケーシング取付ねじ4カ所を外し、ケーシングを手前に引いてください。

- (4) 上部ケーシングを取外し、陶器に貼り付けている発泡スチロールを取外してください。(下図参照)

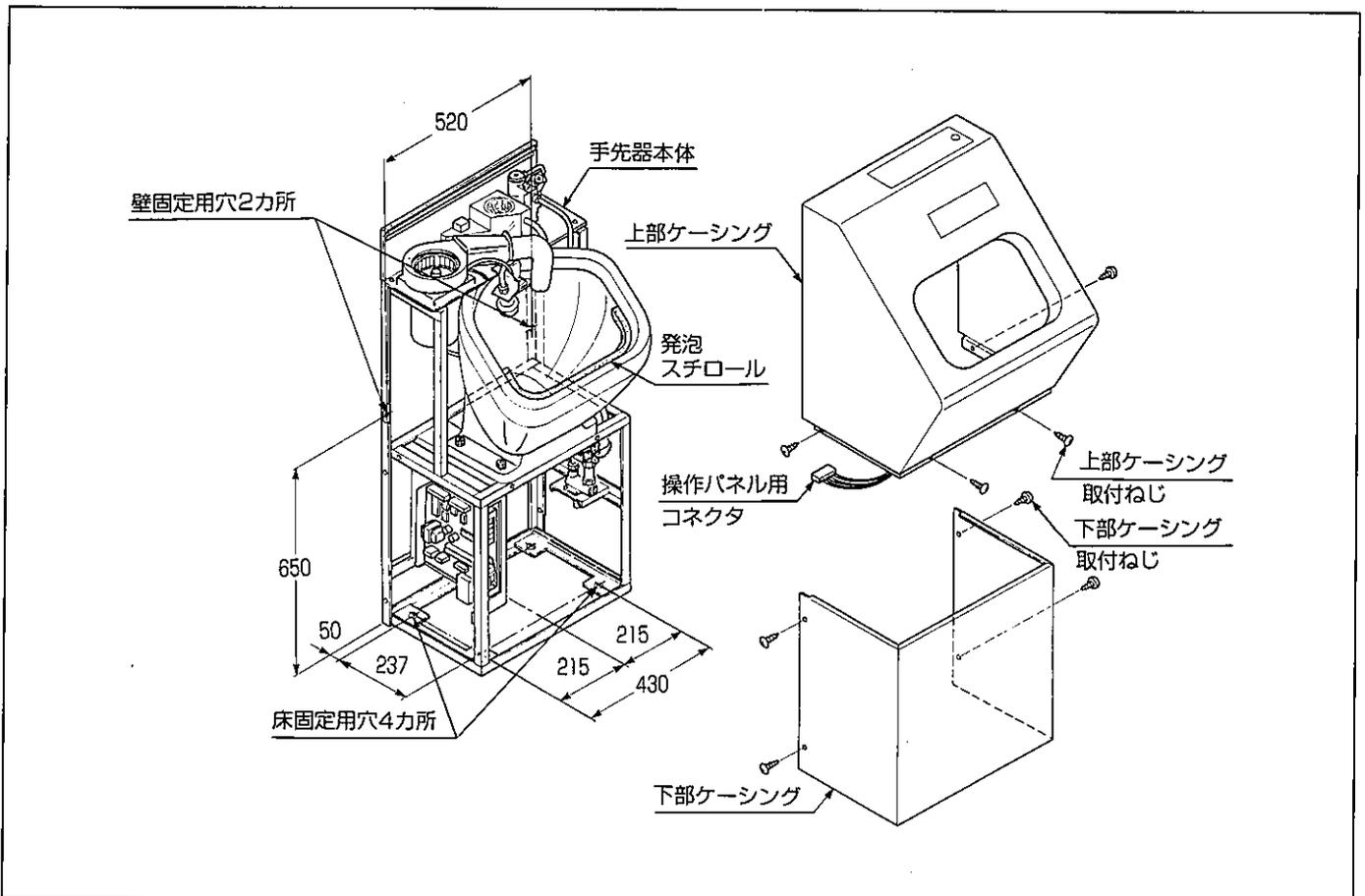
Ⓧ 取付ねじにセットしている樹脂座金を紛失しないように注意してください。



■ 手洗器本体の固定

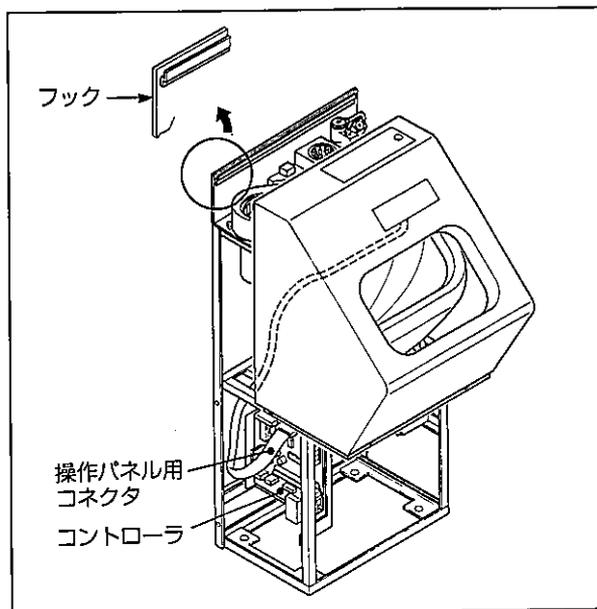
● ボックス下部に器具の床固定用穴(φ12)が4カ所あります。それぞれの穴を利用してφ10の固定用ボルト(現場手配)で手洗器本体を床に強固に固定してください。

Ⓧ 通常は、床固定だけで十分ですが、床面の強度不足、傾き等、不安定な場合は、上部ケーシングを取外し、壁固定用穴(φ12)2カ所を利用してφ10の固定用ボルト(現場手配)で強固に固定してください。



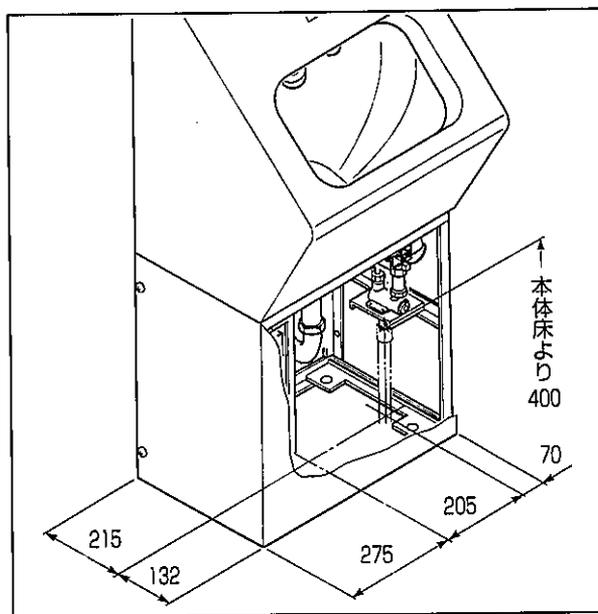
■上部ケーシングの取外し方

- 上部ケーシング取付けねじ4カ所を外します。
コントローラに差してある操作パネル用コネクタを抜いてください。
- 次にケーシングをわずかに持ち上げケーシングをフックより外し、手前に引くとケーシングを取外すことができます。



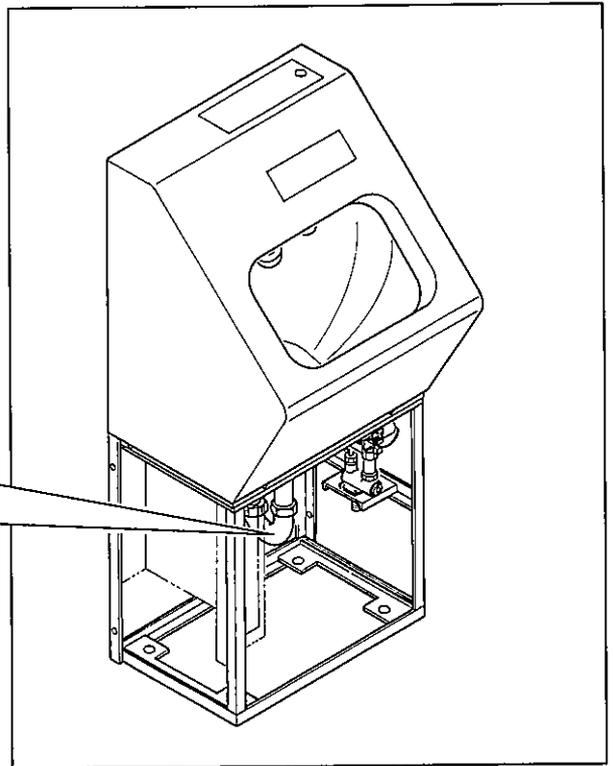
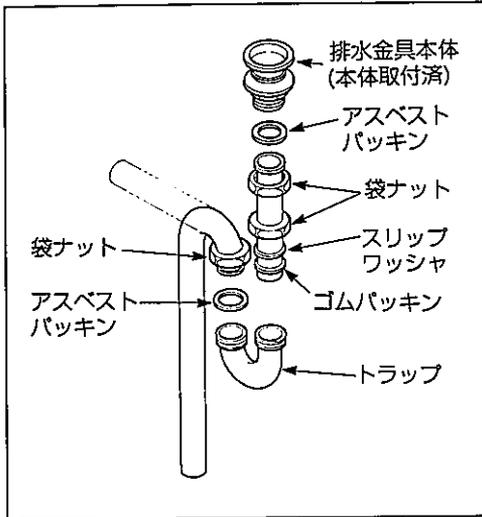
(4)給水接続をしてください。

- 止水栓の給水脚まで配管を立ち上げ給水接続してください。
給水脚のねじサイズはR1/2です。



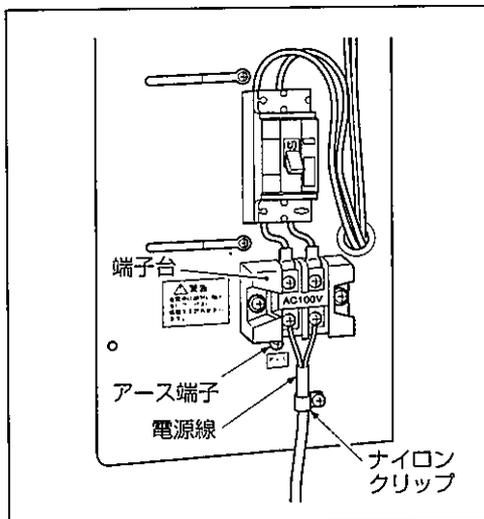
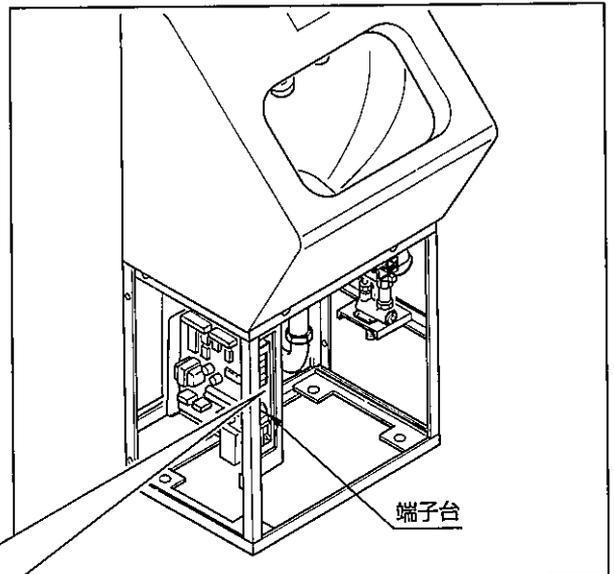
(5) 排水接続をしてください。

- 排水金具本体にトラップ部を取付け排水管を接続してください。PトラップとSトラップを同梱していますので、現場に合わせてご使用ください。

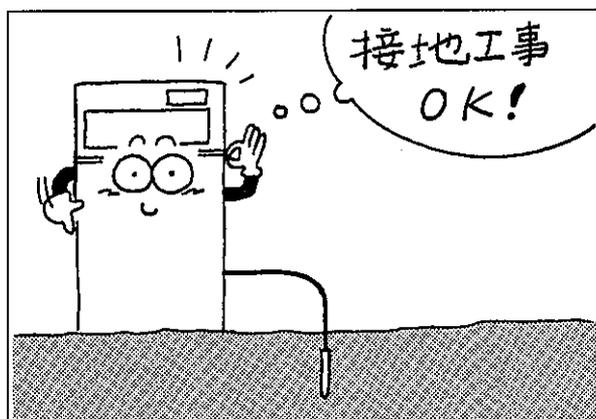


(6) 電源を接続してください。

- 製品の消費電力 (2662W) に見合った配線を行ってください。
- 電源線は、ナイロンクリップで固定してください。



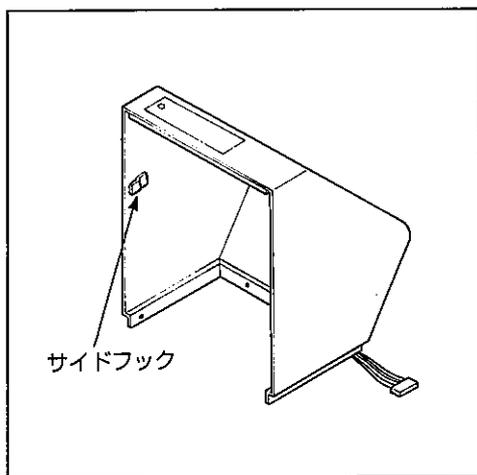
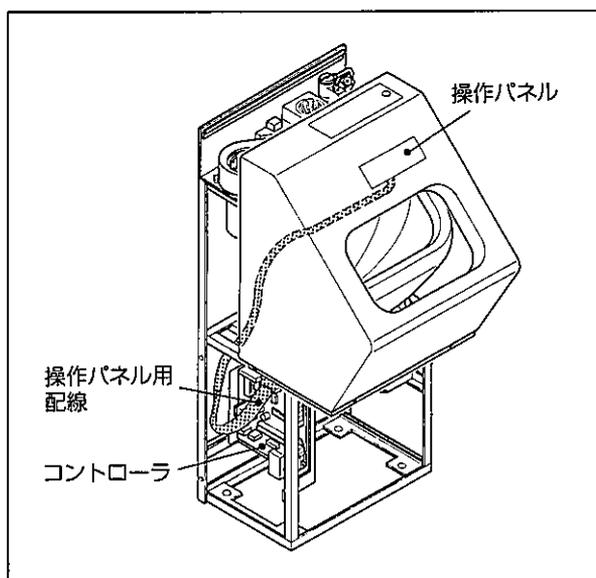
- 端子台にAC100Vを接続し、アース端子よりD種接地工事を行ってください。



- (7)手洗器本体固定のために上部ケーシングを外した場合は、ケーシングを取付けてください。

- 上部ケーシングを持ち上げ、操作パネル用配線が架台とケーシングの間にかみ込まないように、架台部の穴に操作パネルの配線を通し、コントローラ部に接続してください。コネクタには方向性がありますので、コネクタの溝を合わせて接続してください。

- ☒上部フック、サイドフックを引掛ける際は手洗い吐水口、センサー取付板の変形、及び操作パネル用配線のかみ込みがないようにしてください。



- (8)取付後、点検（17ページ参照）をし、異常のないことを確認してから下部ケーシングを取付けてください。

取付後の点検

■取付けが完了したら、給水および通電をして機器内部から漏水がないことを確認してください。

- 確認の際にはケーシングは本体に取付けず、操作パネル側とコントローラ側のコネクタ接続のみを行って確認してください。
- 工場出荷時、漏電過電流遮断器の切換スイッチは「切」にセットされていますので「入」にしてください。
- 機器に給水、通電を行い、手洗いスイッチを押してセンサーを感知させ、機器内部の接続箇所より漏水がないことを確認してください。確認後は ④スイッチを押してください。

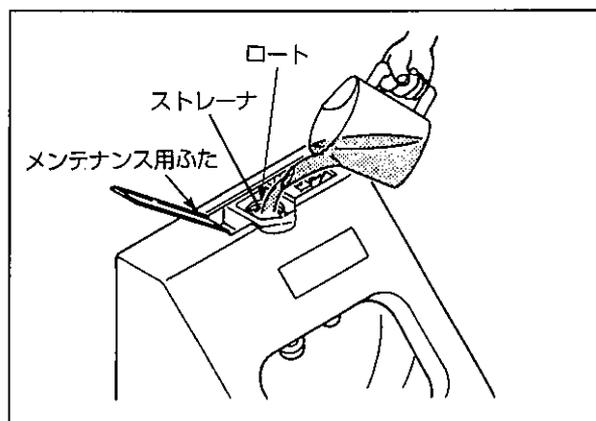
④温水タンクが満水になるまで吐水されませんので、吐水が始まるまで（約1分間）手洗いスイッチを押した後、センサーの感知を継続させてください。

■水石けん吐出の確認をしてください。

- 付属の鍵でメンテナンス用ふたを開けてください。
- 水石けんは確実にロートに注いでください。
液面がストレーナから見えはじめたら満水です。すぐに注入をやめてください。満水になったら石けんスイッチを押し続け、水石けんが出てくることを確認してください。約20秒程度で水石けんが出てきます。

④水石けんは器具内にこぼすと機能に支障をきたすことがあります。水石けんは確実にロート内に注いでください。

④水石けん液として、クレゾール液やアルコール溶液の使用は避けてください。機能に悪影響を与えることがあります。

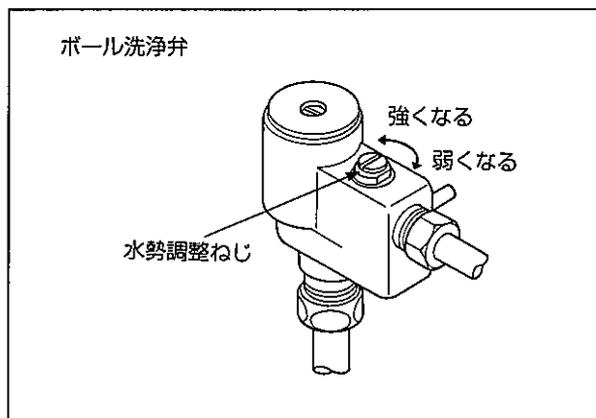


■手洗器ボール洗浄水勢の調節

- メンテナンス用ふたをあけ、手洗いスイッチを押しつづけ、ドライバを用いて手洗いボール洗浄弁を調節してください。

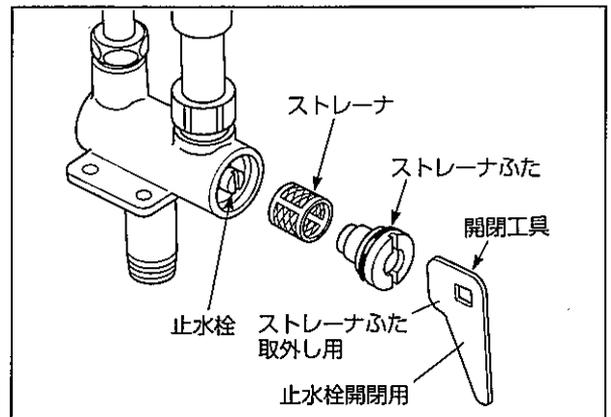
調節方法

- 水勢が強いときには水勢調節ねじを右に、弱いときには左に回してください。



■ストレーナの掃除

- 止水栓にはストレーナが組込まれています。
ストレーナがつまると吐水量が少なくなり十分な機能が発揮されません。取付後は必ずストレーナを掃除してください。またお客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。
- 付属の開閉工具を用い、必ず止水栓を閉めてからストレーナを取外してください。詳細は21ページを参照ください。



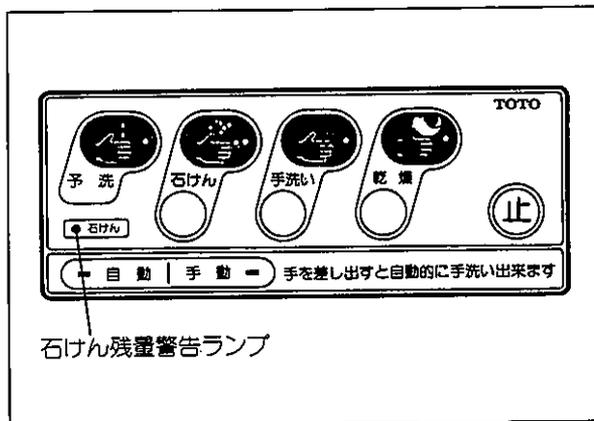
水石けんの補給

■石けん残留警告ランプが点灯したら石けん液を補給してください。

●水石けんが残り約0.4Lになると操作パネル上の石けん残量警告ランプが点灯します。点灯したら速やかに水石けんを補給してください。

⊕石けん残量警告ランプが点灯して約60回程度水石けんを吐出させると安全回路が働き電磁ポンプが停止します。

石けん残量警告ランプが点灯したら速やかに水石けんを補給してください。残量警告ランプが消えると電磁ポンプは自動的にリセットされます。

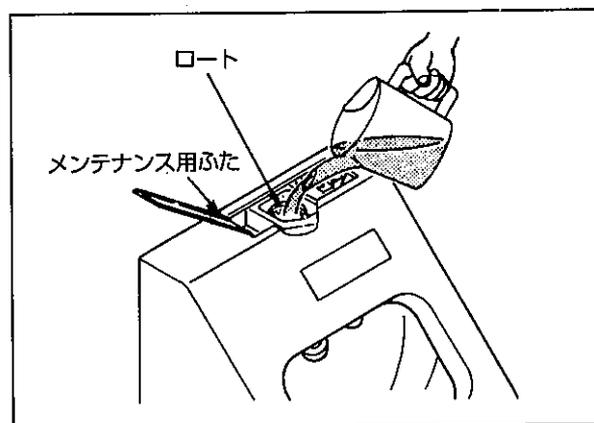


石けん残量警告ランプ

■水石けんの補給

●付属の鍵でメンテナンスふたを開け、水石けんを確実にロート内に補給してください。

⊕石けん液としてクレゾール液やアルコール溶液の使用は避けてください。機能に悪影響を与えることがあります。

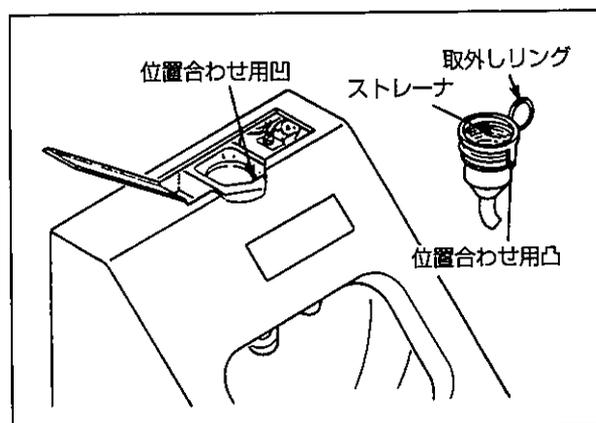


■水石けん補給時の注意

- 水石けんは確実にロート内に注いでください。
水石けんを器具内にこぼすと機能に支障をきたすことがあります。
- 水石けんは入れ過ぎないでください。液面がストレーナから見えはじめたら満水です。すぐに注入をやめてください。尚、水石けんは、満水レベルを超えると内部のオーバーフローチューブから手洗器内に排出されます。

■水石けんストレーナの掃除

- ストレーナは必要に応じて掃除してください。
ストレーナにゴミが詰まったり、水石けんが固着したりすると水石けん補給の際、あふれる場合があります。
- ストレーナはロートに組込まれていますので、ロートに取付けてあるリングを引きあげロートごと取出しストレーナを掃除してください。
- ロートは確実に取付けてください。ロートには方向性がありますので、掃除後は石けん容器凹部とロートに設けられた凸部を確実に合わせて上からしっかり押し組込んでください。



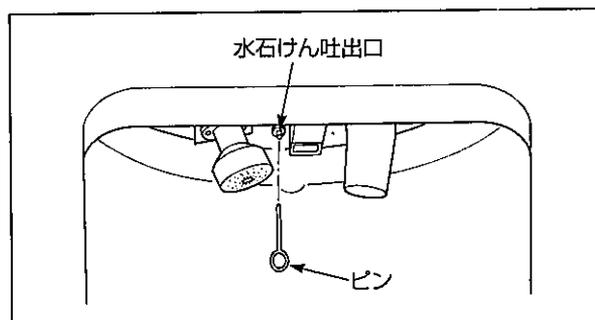
- ストレーナを外して水石けんを補給しますと故障することがありますので絶対にやめてください。

■ 水石けんの粘度が高い場合

- 水石けんの粘度が高くなると吐出量が少なくなります。吐出量が少ない場合は、水石けん吐出タイマーを調節して吐出時間を長くしてご使用ください。調節方法は22ページに記載しています。

■ 水石けん吐出口の掃除

- 水石けんが吐出口につまり、正常に出なくなったら、付属のピンで吐出口を掃除してください。



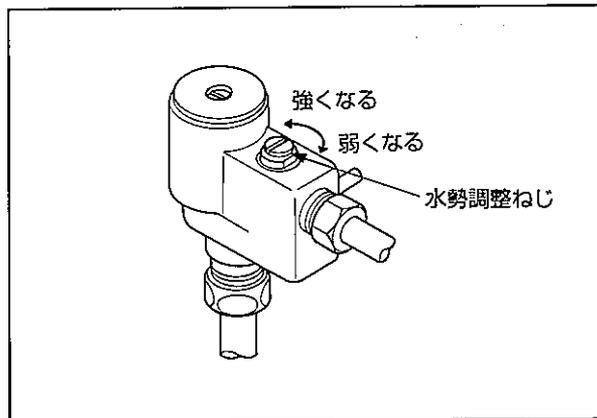
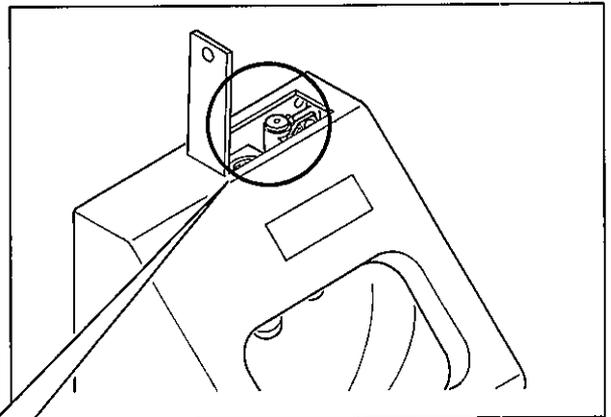
水勢の調節及びストレーナの清掃

■手洗器ボール洗浄水勢の調節

- メンテナンス用ふたをあけ、手洗いスイッチを押しつづけドライバーを用いて調節してください。

調節方法

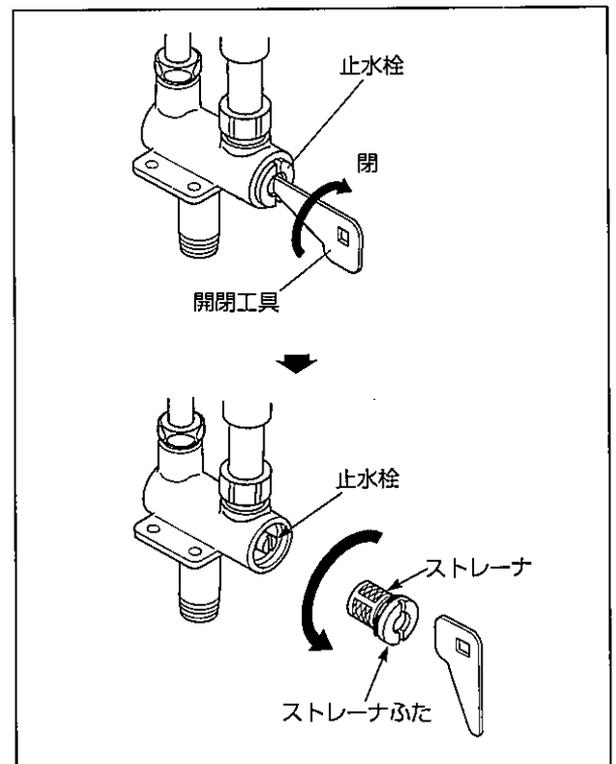
- 水勢が強いときには水勢調節ねじを右に、弱いときには左に回してください。



■止水栓ストレーナの掃除

- 止水栓にはストレーナが組込まれています。ストレーナがつまると吐水量が少なくなり十分な機能が発揮されません。
- ①付属の開閉工具で止水栓を閉じてください。

- ②ストレーナふたを左に回し、ストレーナを取外して掃除してください。

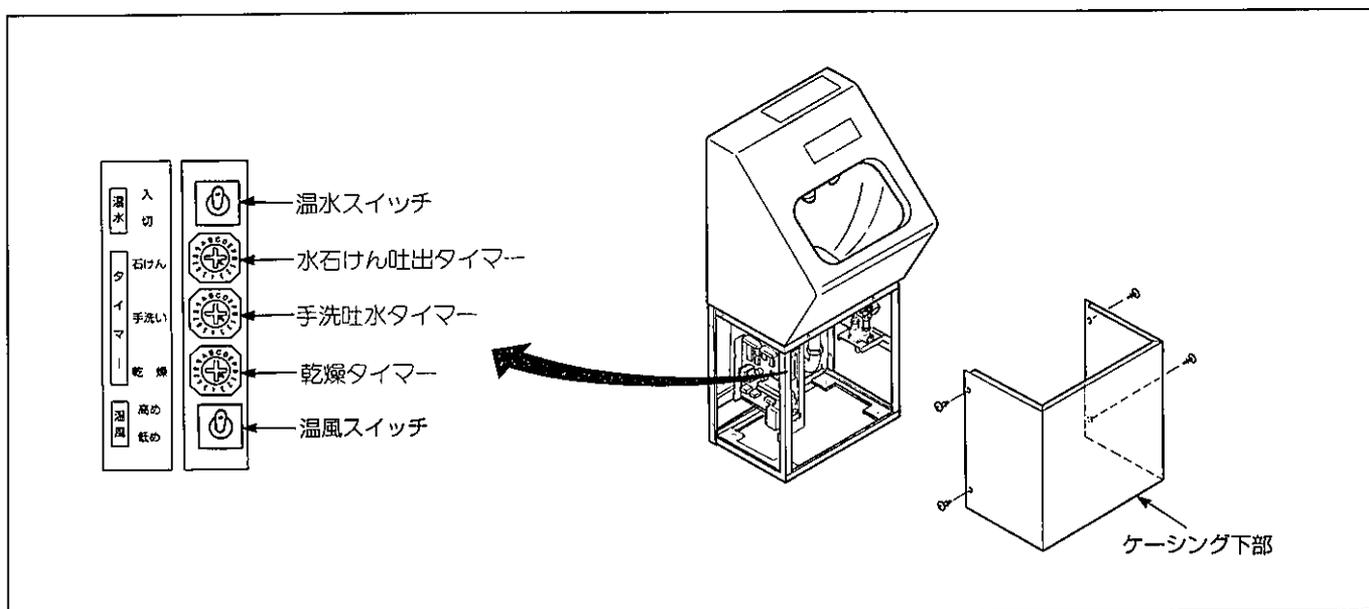


自動運転タイマーの調節と温水スイッチ

自動運転時の水石けん吐出時間、手洗吐水時間、乾燥時間は工場出荷時に調節していますが必要に応じて、それぞれ次のように調節できます。また温水スイッチの操作で温水ヒーターのみ「切」にすることができます。温風スイッチの操作で温風温度の切替ができます。温風が熱い場合は、「低め」に切替えてください。
 ※通電中は端子台等の電気部には絶対触れないでください。
 時間を変更する場合は、次の要領で行ってください。

	工場出荷時の設定	調節可能時間
水石けん吐出タイマー	約1.4秒	約0~5秒
手洗吐水タイマー	約10秒	約6~85秒
乾燥タイマー	約40秒	約10~120秒
温水スイッチ	「入」	「入」、「切」
温風スイッチ	「高め」	「高め」、「低め」

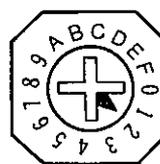
(1) ケーシング下部を取外してください。



(2) タイマーを付属のドライバーで回して時間を調節してください。

- タイマーの数字を大きく又はアルファベット側に設置すると時間が長くなり、数字を小さく設定すると時間が短くなります。
- タイマーは16段階で調節できます。タイマーの数字と各機能の時間設定は下表のとおりです。

表示 時間(秒)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
水石けん吐出時間	0	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0
手洗い吐水時間	6	10	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85
温風乾燥時間	10	20	30	40	50	60	70	80	85	90	95	100	105	110	115	120



※タイマーは16段階です。

例例えば水石けんの吐出時間を3秒、手洗吐水時間を20秒、乾燥時間を30秒に調節する場合は、水石けん吐出タイマーをBに、手洗吐水タイマーを2に、乾燥タイマーを2に合わせてください。

困タイマーは16段階で調節できます。タイマーはそっと回してください。強い力を加えると破損します。

困水石けんを使用しない場合は、石けんタイマーを0にしてください。そうすると、予洗い、水石けんの動作をしなくなります。

故障・異常の見分け方と処置方法

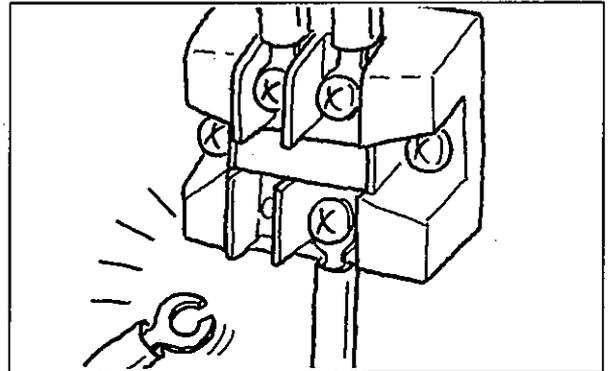
故障したときは漏電遮断器をOFFにし、止水栓を閉めてお取付けの工事店かお客様相談室にご相談ください。なお修理を依頼される前に、まず停電中もしくは断水中ではないか、元栓は閉っていないか確認してください。

またこれらの異常がなければ、次の点検をしてください。

点検の際、電源端子台には絶対に手を触れないでください。

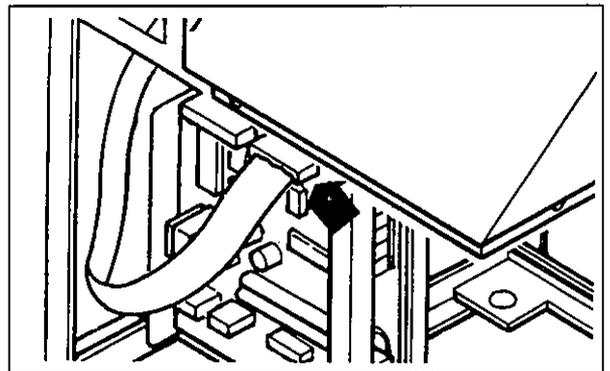
■器具が全く作動しない

- 自動運転、手動運転とも全く作動しないときは端子台にAC100Vが供給されているか調べてください。
異常がなければコントローラ部の漏電・過電流遮断器が作動していないか調べてください。
漏電・過電流遮断器はコントローラ部にあります。



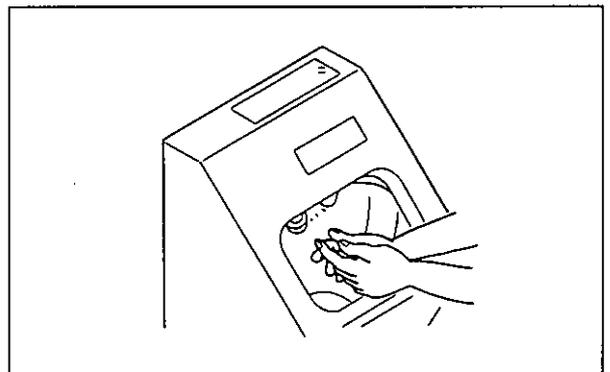
■手動運転で作動しない。(パネルスイッチの信号を受けつけない)

- コントローラに操作パネルからのコネクタが確実に差込まれているか確認してください。(16ページ参照)



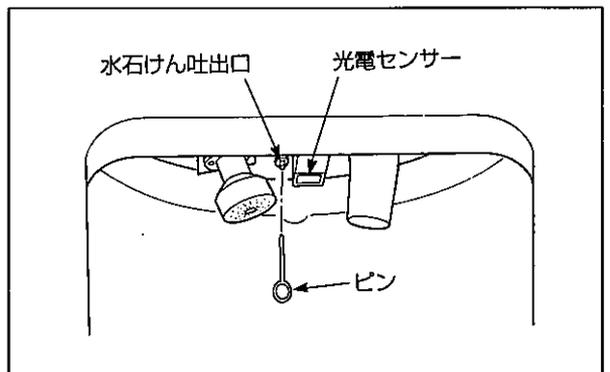
■自動運転で作動しない。(光電センサーで動かない)

- 光電センサーのある上方に手を近づけてセンサーが感知するか確認してください。
- 光電センサーの表面が汚れている場合には感知しにくくなります。センサーの表面を水で軽く濡らした柔らかい布で拭いてください。
- コントローラに光電センサーからのコネクタが確実に差込まれているか確認してください。



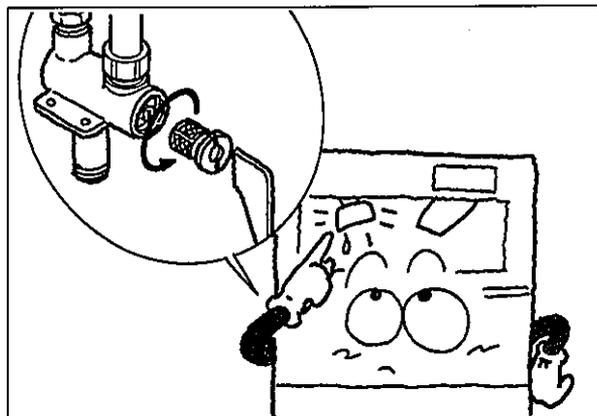
■水石けん吐出口から石けん液が出ない。

- 石けん残量警告ランプが点灯していないか確認してください。
点灯していたら水石けんを補給してください。
水石けん補給時は19ページの石けん補給時の注意を参照の上、補給してください。
- 吐出口がつまっていないか確認してください。
つまっていたら付属のピンで吐出口を掃除してください。
- コントローラに石けんポンプからのコネクタが確実に差込まれているか確認してください。



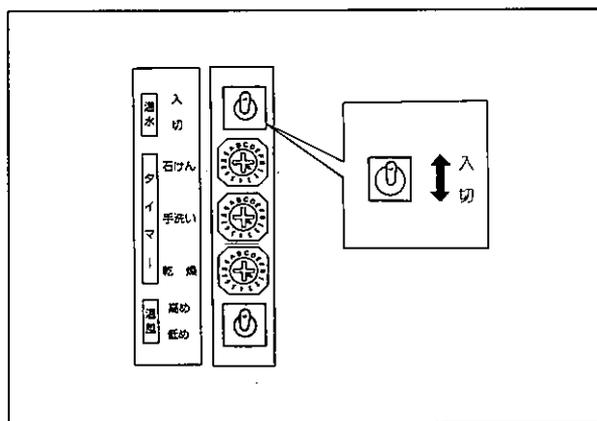
■手洗吐水口から水が出ない。

- 止水栓が全閉になっていないか確認してください。またストレーナの目づまりがないか調べてください。(21ページ参照)
- 給水圧力(流動時の静圧)が0.07MPa以上確保されているか確認してください。
- コントローラに電磁弁からのコネクタが確実に差込まれているか確認してください。



■温水が出ない。

- コントローラ部の温水スイッチが切になっていないか確認してください。温水スイッチはコントローラ部にあります。

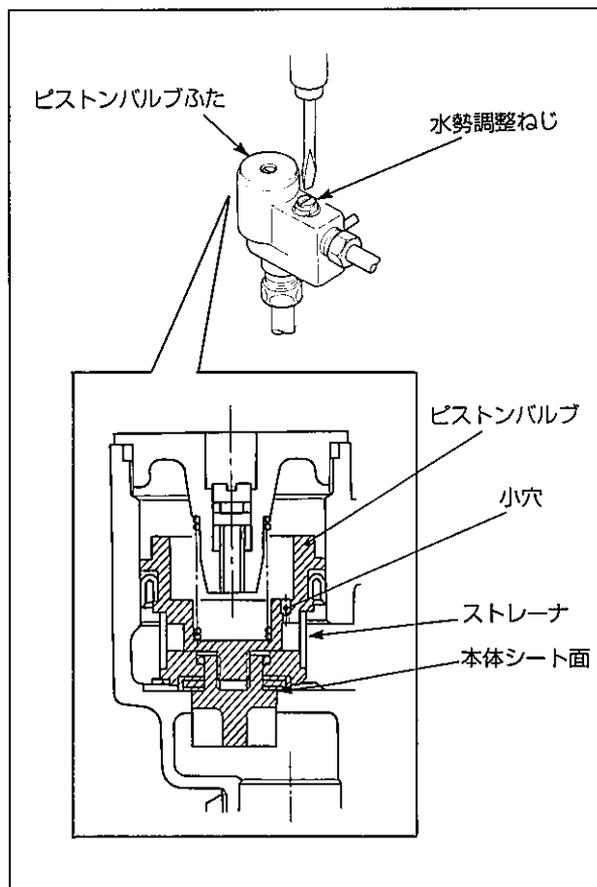


■手洗器ボール洗浄用の吐水が出ない。

- ボール洗浄弁の水勢調節ねじが全閉になっていないか確認してください。(17ページ参照)
- 給水圧力(流動時の静圧)が0.07MPa以上確保されているか確認してください。

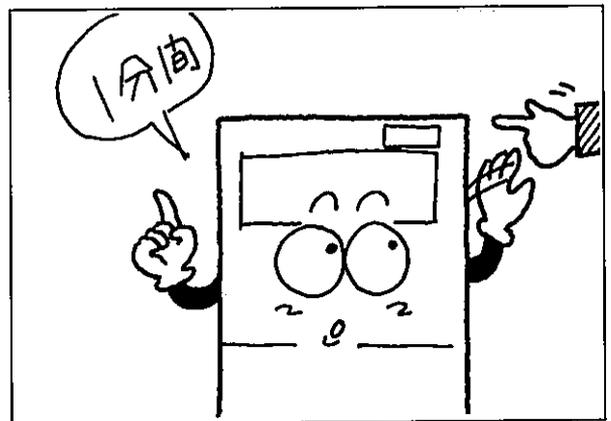
■手洗器ボール洗浄が止まらない。

- ボール洗浄弁の水勢調節ねじを右に回して水を止めます。ピストンバルブふたを外しピストンバルブを取出します。小穴にごみづまりがないか確認してください。またストレーナの目づまりがないか、本体シートのごみかみがないかを点検し掃除してください。



■手洗吐水温度が上昇しない。

●冬場など給水温度が低い場合に連続して使用されますと、温水が沸き上らずに冷たい水が吐水されることがあります。1分間程度、間隔をおいてご使用ください。



商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

補修部品のご購入はTOTOパーツセンターへ



0120-8282-55

受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

修理についてのご用命は東陶メンテナンス㈱へ



0120-1010-05

受付時間：関東・甲信越地区 8:00～20:00
：上記以外の地区 9:00～20:00

商品に関するご相談や修理については、下記のお取付工事店・販売店へ